

様式第4のト（第4条、第5条関係）

移動タンク貯蔵所構造設備明細書

車名及び型式		1 ○○自動車 KEG-2031E 単一車							
製造事業所名		2 ○○自動車工業株式会社							
3 危険物	類別	第4類		側面 9 当て 板	材 質 記 号	SS400			
	品名	第1 第2石油類				引張り強さ	400N/mm ²		
	化学名	ガソリン 軽油 灯油			板厚		3.2mm		
	比重	0.75 0.85 0.80				10. 材 防 護 材 質 記 号	SS400		
4 タンク諸元	断面形状	だ円形		10. 材 防 護 材 質 記 号	引張り強さ		400N/mm ²		
	内測 寸法	長さ	4,800mm			11. 装 閉 鎖 置 置	板厚	3.2mm	
		幅	2,290mm		自動閉鎖装置			㊟ ・ 無	
		高さ	1,300mm					手動閉鎖装置	㊟ ・ 無
	最大容量	10,000ℓ		12. 吐出口の位置		㊟ 右 ㊞			
	タンク室の容量	1・2・3室 2,000ℓ 4室 4,000ℓ		13. レバーの位置		㊟ 右 ㊞			
	材 質 記 号	材質記号	SS400		14. 底弁損傷防止方法		配管の屈曲		
		引張り強さ	400N/mm ²		15. 接地導線		㊟ (長さ 10m) ・ 無		
	板厚	胴板	3.2mm		16. 緊 結 装 置	緊締金具 (すみ金具)		有 ・ 無	
		鏡板	3.2mm			U ボ ルト	材質記号		
間仕切板		3.2mm		引張り強さ			N/mm ²		
5 防 波 板	材 質 記 号	材質記号	SPCC		直 径 、 本 数	mm ・ 本			
		引張り強さ	270N/mm ²						
	板厚	1.6mm		17. 箱 材 質 記 号	材質記号				
	面積比	1・2・3室 50.8% 4室 53.6%			引張り強さ	N/mm ²			
防波板面積 × 10 ⁶		タンク断面積		18. 薬 劑 の 種 類		粉末			
タンクの最大常用圧力		6 20kPa以下		18. 消 火 器	薬劑量		3.5kg	kg	
7 安 装 全 置	作動圧力	20 < P ≤ 24 kPa			個数		2個	個	
	有効吹き出し面積	全室25.5cm ²		19. 可 燃 性 蒸 気 回 収 設 備		㊟ ・ 無			
8 側 面 枱	材 質 記 号	材質記号	SS400		20. 給 油 設 備		有 (航空機・船舶) ・ ㊞		
		引張り強さ	400N/mm ²		21				
	板厚	3.2mm							
	取付角度	37°							
接地角度	78°								

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

[構造明細書記入要領]

各欄の該当しない部分は、「／」、「—」、「なし」等を記入し、該当する部分がないことを明確にする。

- 1 車名及び型式は、車両製造メーカー名及び車検証に記載されている型式を記入する。
- 2 車両を用いて、タンク等をぎ装して移動タンク貯蔵所を製造した事業所名を記入する。
- 3 危険物は、貯蔵所に貯蔵が予定されるすべての危険物を記入する。
記入しきれない場合は、別紙に記入する。
- 4 タンクの緒元は、それぞれ該当する箇所を記入する。材質は、J I S 記号により記入する。
- 5 防波板は、タンク室に設置が必要な場合は、該当する箇所をすべて記入する。
なお、材質は、J I S 規格番号又は材質記号により記入する。
- 6 タンクの最大常用圧力は、その数値を記入する。
- 7 安全装置は、設置されるすべての安全装置が同じ性能である場合は、まとめて記入する。
- 8 側面枠は、それぞれ該当する箇所を記入する。材質は、J I S 規格番号又は材質記号により記入する。
- 9 8と同様に記入する。
- 10 防護枠は、それぞれ該当する箇所を記入する。材質は、J I S 規格番号又は材質記号により記入する。
- 11～13 閉鎖装置、吐出口及びレバーの位置は、該当する項目を○で囲むよう記入する。
レバーは、緊急停止レバーのことをいう。
- 14 底弁損傷防止方法は、配管の屈曲、フレキシブルチューブ、可とう結合金具等貯蔵所に用いられた措置について記入する。
- 15 接地導線は、有・無のいずれかを○で囲むよう記入し、有の場合括弧内に接地導線の長さを記入する。
- 16 緊結装置は、積載式移動タンク貯蔵所の場合に該当する項目を記入する。
- 17 箱枠は、タンクコンテナ等の箱枠を有するタンクの場合に該当する項目を記入する。
- 18 消火器は、貯蔵所専用として車両等に取り付けられる消火器について、該当する事項を記入する。
- 19 可燃性蒸気回収設備は、有・無のいずれかを○で囲むよう記入する。
- 20 給油設備は、有・無のいずれかを○で囲むよう記入し、有の場合は、括弧内の該当しないものを二重線で抹消する。
- 21 備考欄は、特殊な移動タンク貯蔵所である場合等に概要を記入する。
(例) 加熱設備有り、冷却装置有り